

レクサス ネットワーク CD/DVD サーバ スタンダードモデル(DVRSE30)

設置ガイド



2007年7月発行 第1版

株式会社レクサス

REXAS

はじめに

このたびは REXAS CD/DVD サーバ(以下、CD/DVD サーバ)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品を正しく設置するために、このマニュアルをよくお読みくださいますようお願いいたします。

このマニュアルについて

このマニュアルでは、CD/DVD サーバの設置・組み立てを担当するユーザを対象に、CD/DVD サーバの設置・組み立て方法、設定方法について説明しています。またこのマニュアルを活用するためには、ネットワークに関する基本的な事項を理解している必要があります。

このマニュアルは、CD/DVD サーバとその製品ソフトウェアリリース 1.03 に対応し、特に明記しない限り、以後のリリースに対しても適用されるものとします。

安全上のご注意(必ずお読みください)

ここでは、この製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく事を説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

このマニュアルでは、以下のような記号による表示をしています。内容を良く理解した上でお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。



警告

異常が起きたら

煙が出ている、変なおいや音がしているなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社あるいは販売店に修理をご依頼ください。

内部に異物や液体を入れない

本機の内部に異物や液体が入ると火災・感電の原因となります。通風孔などから内部に異物を入れないでください。また、倒れると内部に液体が入る場合がありますので、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。万一、機器の内部に異物や液体が入った場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社あるいは販売店にご連絡ください。

電源コードを傷つけない

電源コードが破損すると、火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重い物を乗せたり、足で踏んだりしない。
- 熱機具に近づけたり、加熱したりしない。
- 加工したり、傷つけたりしない。
- 無理に曲げない、ねじらない。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずにプラグを持って抜く。

電源コードが破損した場合には、弊社または販売店宛に交換をご依頼ください。

電源プラグをコンセントに挿す時の注意

電源プラグをコンセントに挿す時、先端の金属部分をさわらないでください。また濡れた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となります。

分解・改造しない

このマニュアルで説明された以外の箇所を開けたり、分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。

海外では使用できません

この機器は日本国内でのみ使用できます。仕様で表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。海外での使用を希望される場合には、弊社にご相談ください。



注意

接続前の注意

他の機器を接続する前に各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切った上で説明に従って接続してください。

設置場所について

次のような設置場所に置かないでください。火災・感電やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気のあたる場所
- ・ 湿気やほこりの多いところ
- ・ 不安定な台の上や傾いたところ
- ・ 直射日光のあたる場所

移動させるとき

移動させるときは電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを全てはずしてから行ってください。コードが傷ついて火災・感電の原因となったり、機器が転倒してけがの原因となったりすることがあります。

長期間ご使用にならないときなど

長期間ご使用にならないときやお手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品を運用した結果の影響につきましては、
前章に関わらずいかなる責任も負いかねます
のでご了承ください。

目次

| | |
|--------------------------|----|
| はじめに..... | I |
| このマニュアルについて..... | I |
| 安全上のご注意(必ずお読みください) | II |
| 目次 | VI |
| 1. お使いになる前に | 1 |
| 梱包内容の確認 | 1 |
| 2. 開梱と接続..... | 3 |
| 2.1. 梱包と開梱..... | 3 |
| 2.2. 接続..... | 3 |
| 3. 電源投入と初期設定..... | 4 |
| 3.1. 起動..... | 4 |
| 3.2. ネットワークへの接続..... | 5 |
| IPアドレスの割り当て..... | 5 |
| IPアドレスを設定する方法..... | 5 |
| 3.3. ルートパスワードの変更..... | 9 |
| 3.4. 日付と時刻..... | 11 |

(MEMO)

(MEMO)

1. お使いになる前に

梱包内容の確認

本体の梱包を開けましたら以下の物品がすべて揃っていることをご確認ください。

スタンダードモデル (DVRSE30)

● CD/DVD-ROM サーバ

- ・ サーバ本体..... 1 台
- ・ 付属品 (後記)..... 1 式
- ・ 設置ガイド (本書) 1 冊
- ・ 取扱説明書 1 冊
- ・ クイックスタートガイド 1 冊
- ・ 保証書 1 枚
- ・ ユーザ登録 FAX 用紙..... 1 枚

※ ディスプレイ、キーボード、マウスは付属しませんので、お客様にて一時的にご用意ください (設置時と障害等リカバリの場合以外、日常的には必要ありません)。

● 付属品

- ・ 電源ケーブル 1 本
- ・ インストール CD パッケージ..... 1 袋
- ・ ドキュメンテーション CD..... 1 枚
- ・ LINUX CD 1 箱
- ・ リカバリ DVD..... 1 枚
- ・ はじめに..... 1 冊
- ・ 製品情報ガイド..... 1 冊
- ・ Linux インストール手順および重要情報..... 1 冊
- ・ サービス&サポートのご案内 1 冊
- ・ Information Update 1 枚
- ・ サーバ製品設置場所登録変更について..... 1 枚
- ・ ACTIVATE YOUR SUBSCRIPTION..... 1 枚

1. お使いになる前に

この製品は、厳密な品質管理の下に製造・出荷されておりますが、万一、欠品や不良品などがございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

2. 開梱と接続

2.1. 梱包と開梱

梱包は本体 1 個口になっています。通常のダンボールに梱包用のテープで梱包されていますのでカッター等でテープを切って開梱します。

2.2. 接続

本体は改めて組み立てるものではありませんが、ディスプレイ、キーボード、マウスは付属しませんので一時的にご用意いただき、本体に接続してください(日常的には必要ありません)。本体詳細はマニュアルをご参照ください。



3. 電源投入と初期設定

3.1. 起動

接続ができれば電源を投入します。ディスプレイ上に BIOS レベルでの接続確認が出ますので確認してください。

```
One 1.86 GHz Dual-core Processor, Processor Bus: 1066 Mhz, L2 cache: 2 MB
Adaptec SCSI BIOS v4.30.1
Copyright 2005 Adaptec, Inc. All Rights Reserved.
<<< Press <Ctrl><A> for SCSISelect(TM) Utility! >>>
Slot Ch ID LUN Vendor Product Size Bus
-----
04 A 6 0 SEAGATE DAT MAT72-052 16
04 B 0 0 JUC JUC-CHC MC-0100 8
04 B 1 0 MATSHITA DVD-RAM SW-9572 16

Broadcom NetXtreme Ethernet Boot Agent v0.3.9
Copyright (C) 2000-2005 Broadcom Corporation
All rights reserved.
Press Ctrl-S to Enter Configuration Menu ...
```

ブートが完了するとログイン画面が表示されます。ボックスにユーザ名”root”を入力してください。必ず小文字で入力します。Enter キーを押して、続いて表示されるボックスにパスワードを入力してください。出荷前に弊社へヒアリングシートをお送りいただいている場合はそちらで指定したものに、送っていないなかったり指定していなかったりした場合は”rootroot”を入力してください。パスワードなので入力してもマスクされていますので大文字小文字等には気をつけてください。



3.2. ネットワークへの接続

始める前に

ネットワークの設定を変更する前に、必ずネットワーク管理者に相談してください。

IP アドレスの割り当て

TCP/IP ネットワーク上で通信を確立するには、CD/DVD サーバに適切な IP アドレスを割り当てる必要があります。通常事前にお伺いしてある IP アドレスをセットして出荷していますが事前の申し出がなかった場合は DHCP で IP アドレスを取得する設定で出荷されます。

IP アドレス

未使用の IP アドレスをネットワーク管理者から取得する必要があります。

DHCP

DHCP を使用している場合、CD/DVD サーバをネットワークに接続すると自動的に IP アドレスが割り当てられます。CD/DVD サーバに割り当てられた IP アドレスを調べるには、お使いの DHCP サーバを確認してください。IP アドレスを手動で設定する場合は、適切なパラメータを設定することにより DHCP を無効にすることができます。

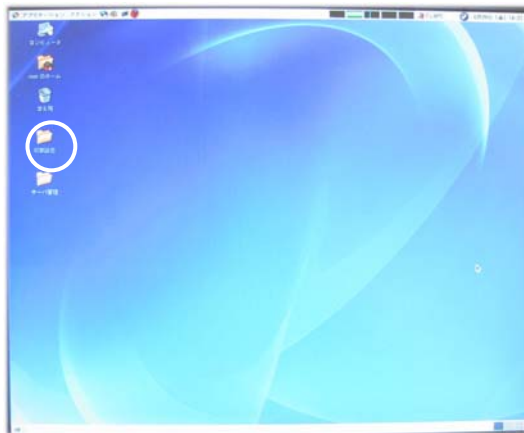
IP アドレスを設定する方法

サーバを起動してルート権限でログインします。ルートのパスワードは通常事前にお伺いして出荷時に設定していますが、特に指定がなかった場合等は「rootroot」となっています。

3. 電源投入と初期設定

root でログインすると以下の画面が表示されます。

この画面で「初期設定」を開きます。



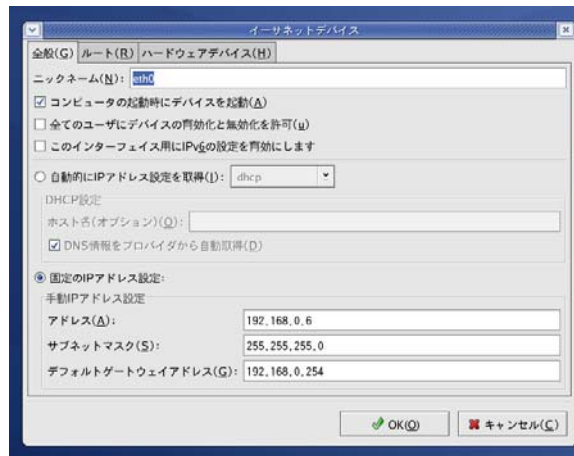
続いてこの画面で「ネットワーク」を開きます。



「ネットワーク設定」の「デバイス」タブ画面が表示されます。



ここで「編集」ボタンをクリックすると「イーサネットデバイス」の「全般」タブの画面が表示されます。



通常事前にお伺いした IP アドレスがセットされています。事前の申し出がなかった場合等は DHCP で IP アドレスを取得する設定で出荷されます。画面は IP アドレスがセットされている場合のサンプルです。この画面では IP アドレスの設定方法以外の項目は基本的に変更しないでください。

自動的に IP アドレスを取得する場合

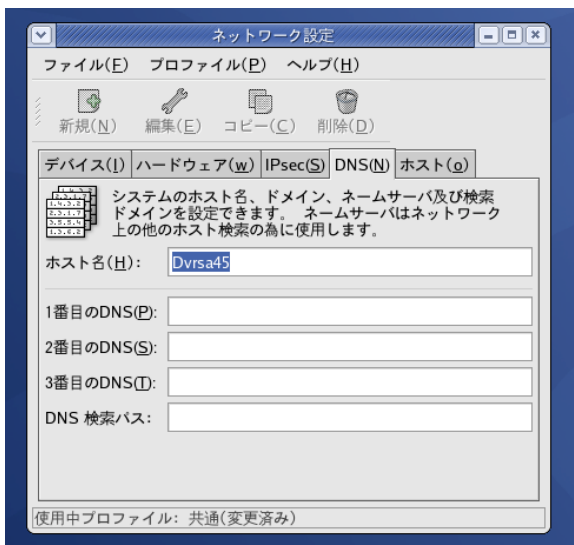
「自動的に IP アドレスを取得」を選択します。有効になると同じ行のドロップリストから「dhcp」か「bootp」を選択します。「ダイヤルアップ」は選びません。その他 DHCP 設定として「ホスト名」の入力や「DNS 情報をプロバイダから自動取得」などがあります。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。

固定 IP アドレスを使う場合

「固定の IP アドレス設定」を選択します。有効になると「アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイアドレス」を入力します。
「ルート」タブや「ハードウェアデバイス」タブにつきましては基本的に変更しないでください。詳細がわかり問題解決に必要な場合のみ変更するようにしてください。
正しく設定できたら「OK」をクリックしてください。変更を全て無効にするには「キャンセル」をクリックしてください。

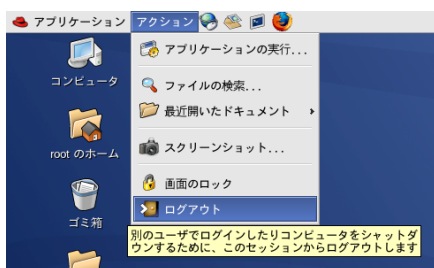
3. 電源投入と初期設定

「ネットワーク設定」の「ハードウェア」タブ画面の内容は変更しないでください。「IPsec」タブ画面の内容も変更しないでください。詳細がわかり問題解決に必要な場合のみ変更するようにしてください。「DNS」タブ画面ではご利用のネットワークでの DNS 環境を設定します。



ここで「ホスト名」を指定します。ホスト名にはこのマシンの名前を設定しますが、ドメイン名等を同時に設定可能です。「DNS」は名前解決に必要な DNS サーバの IP アドレスを設定します。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。

設定後ファイルメニューから「保存」を選択します。その後ネットワーク設定を終了し、再起動を行います。画面左上のメニューバーから「アクション」→「ログアウト」と選択し、「コンピュータの再起動」をチェックして「OK」をクリックしてください。



3.3. ルートパスワードの変更

ルートユーザはあらゆる操作が可能であり、ルートユーザのパスワードが万が一漏洩すると本サーバを思うままに制御できてしまいます。そのような事態は非常に危険であり自分だけではなく周りにも大きな迷惑をかけてしまいます。可能な限りパスワードは頻繁に変更し、メモなどを残さないようにしてください。ただし、このルートのパスワードを忘れてしまいますとその後の設定変更やアップグレードなどで重大な問題を引き起こすこともありますのでご注意ください。

サーバを起動してルート権限でログインします。ルートのパスワードは通常事前にお伺いして出荷時に設定してありますが、特に指定がなかった場合等は「rootroot」となっています。

root でログインすると以下の画面が表示されます。

この画面で「初期設定」を開きます。

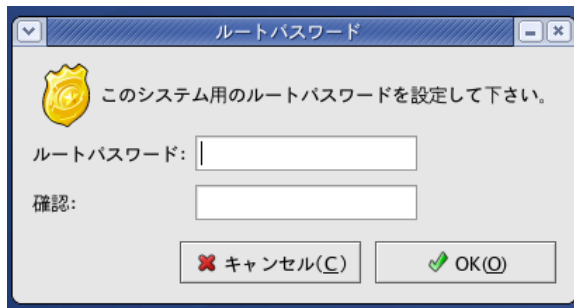


続いてこの画面で「ルートパスワード」を開きます。



3. 電源投入と初期設定

ここで新規のルートパスワードを「ルートパスワード」に入力し、同じものを「確認」に入力します(6文字以上)。



ここでは入力可能な文字はアルファベット、数字、記号となっています。また、入力した文字は全て「*」に変換されて表示されるのでご注意ください。大文字小文字なども区別しますので Caps Lock キーは特にご注意ください。

入力が終わったら「OK」ボタンをクリックして新パスワードを有効にします。

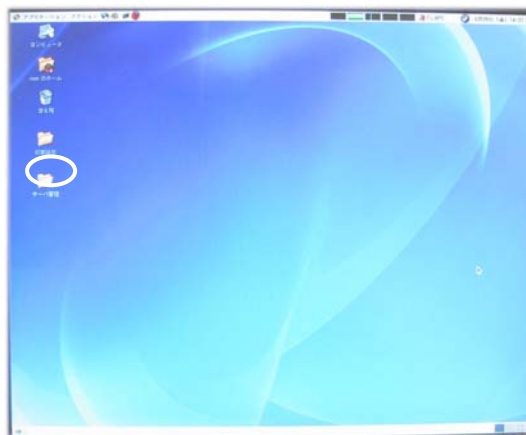
3.4. 日付と時刻

日付と時刻は出荷時に設定されています。また、NTP についても通常事前にお伺いして出荷時に設定してあります。こちらが設定されている場合あえて時間を合わせなおす必要はありませんが、設定されていない場合や、手作業で修正したい場合は以下の手順で行います。

サーバを起動してルート権限でログインします。ルートのパスワードは通常事前にお伺いして出荷時に設定してありますが、特に指定がなかった場合等は「rootroot」となっています。

root でログインすると以下の画面が表示されます。

この画面で「初期設定」を開きます。

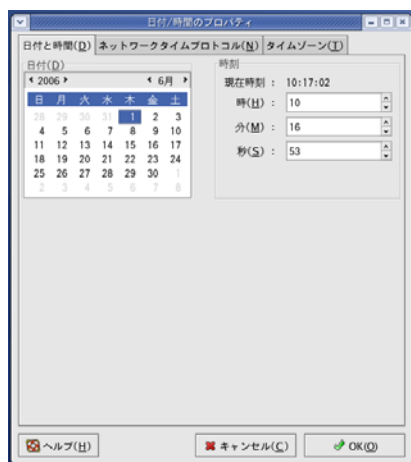


続いてこの画面で「日付と時間」を開きます。

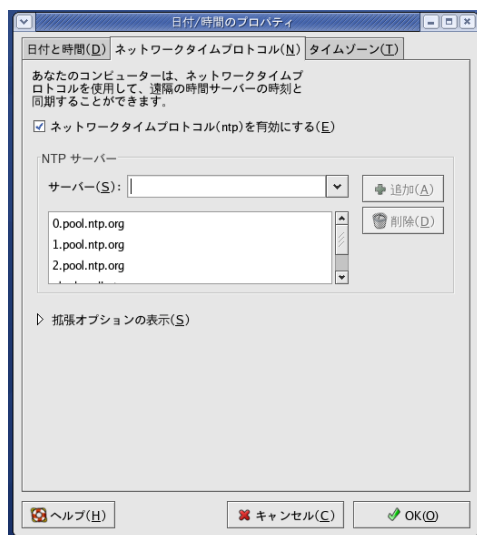


3. 電源投入と初期設定

「日付／時間のプロパティ」の「日付と時間」タブ画面で日付と時刻を設定します。ただし、NTP が有効になっているときは編集できません。



「ネットワークタイムプロトコル」タブ画面を開くと NTP を使った設定が変更できます。ネットワーク内に NTP サーバがあるか外部の NTP サーバにアクセスできる場合はこちらを有効にすると良いでしょう。「ネットワークタイムプロトコル(ntp)を有効にする」にチェックを入れるとNTPサーバより時刻情報を受け取ることになります。データを受け取るサーバは「NTPサーバ」グループ内で指定します。NTPサーバの名前を設定してください。追加オプションとして「ローカルタイムソースを使用」「NTP ブロードキャストを有効」があります。詳しくはシステム管理者にお尋ねください。



「タイムゾーン」タブ内は基本的には変更しません。ただ、システム内で UTC を使用することが決まっている場合は「システムクロックで UTC を使用」にチェックを入れてください。



最後に「OK」をクリックすると全変更が有効になります。

基本的なインストール動作は以上で終了です。以降は個別のコンテンツごとの設定となります。詳しくは「レクサス CD/DVD-ROM サーバ ユーザーズマニュアル」を参照してください。

レクサス CD/DVD サーバ
スタンダードモデル(DVRSE30)
設置ガイド

2007年7月 Ver.1.03 第1版発行
発行株式会社レクサス

Copyright ©2005-2007 REXAS Inc.